

教育旅行用 総合資料

～地球規模の課題を自らの問題と捉え、
自分にできることを考え、実践していこう～



気仙沼温泉

サンマリン
気仙沼 ホテル 観洋
気仙沼 プラザ ホテル

総合予約センター
0226-22-1660

営業担当 堺 文明
(予約部長 三浦)



気仙沼で
お待ちしております！

★この資料は気仙沼プラザホテルの公式HPから
ダウンロードできますのでご活用ください！



教育旅行営業担当 兼 気仙沼プラザホテル 支配人
支配人 堺 丈明(さかい たけあき)

総合予約センター(サンマリン気仙沼ホテル観洋 事務所内)
TEL 0226-22-1660 FAX 0226-22-6665 (予約部長 三浦 寛)

サンマリン気仙沼ホテル観洋
〒988-0021
宮城県気仙沼市港町4-19
TEL 0226-24-1200(代表) FAX 0226-22-6665

気仙沼プラザホテル
〒988-0014
宮城県気仙沼市柏崎1-1
TEL 0226-23-1313(代表) FAX 0226-22-3398

mail : t_sakai@kesennuma-plaza.co.jp

その他、気仙沼の情報は
WEB「気仙沼さ来てけらいん」で検索！

R6年度版
宮城県内を旅行される宮城県外の学校さまへ
「みやぎ教育旅行バス助成金」のご案内

助成金の交付対象・内容

■助成対象
◆宮城県外の学校 ※詳しくは交付要綱をご確認ください。
※出発前日から出発前までの移動手段については、軌道車や鉄道などの公共交通機関等の利用も可能です。

◆助成要件
①宮城県内に宿泊する団体旅行
②県内の有料観光施設と宮城県教育旅行ガイドブック(web版含む)の「震災・防災・減災学習」に関連するものの中から1か所を含む2箇所以上訪問する行程であること。
※一部対象外の旅行がございます。詳しくは交付要綱をご確認ください。
web版: <https://www.miyagi-kankou.or.jp/kyouiku/>

◆助成額及び助成上限額
条件により、助成金額が変わります。
(1) 宮城県をバスの発地とし、宮城県内に事業所を有するバス事業者を利用
(2) 上記以外のバス事業者を利用

条件	助成額	交付上限
(1)の場合	70,000円/台	700,000円 (10台分)
(2)の場合	50,000円/台	500,000円 (10台分)

※助成金の交付額が予算額に達した場合は、その時点で満了終了となります。
※申請は旅行出発日から遡算して10日前までにご申請下さい。
※その他、本助成事業の詳細については下記ホームページをご覧ください。
https://www.pref.miyagi.jp/teshiki/kanbou/Bus_jyosai/e5.html (宮城県観光情報HP)

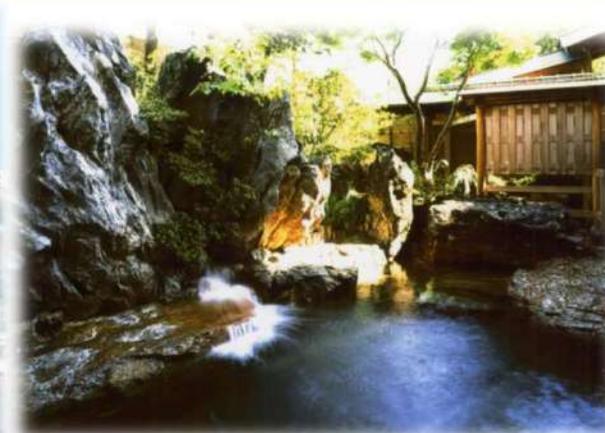
宮城県 バス助成金 検索

【申請先/バス助成金に関するお問い合わせ】
〒980-8570宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1
宮城県経済商工観光部観光戦略課観光産業課両班
受付時間 8:30~17:15
TEL:022-211-2755 FAX:022-211-2829
E-mail kankouss@pref.miyagi.lg.jp



仙台・宮城県観光情報センター
むすび丸

施設案内



～サンマリン気仙沼ホテル観洋～

- ・客室数全69室 収容人数333名
- ・大浴場 気仙沼温泉(泉質 ナトリウム-塩化物強塩泉)
男女各 内風呂・露天風呂 11:00～翌朝8:00
- ・会場 **大宴会場・大ホール「ベルサイユ」180名収容(2分割可)**
中宴会場「マリンビュー」100名収容(3分割可)
小宴会場8会場 和室6名～20名様収容(会場によって異なります)
コンベンションホール「サンライズ」洋室 150名収容(分割不可)
- ・売店 7:00～21:00
- ・送迎バス保有(気仙沼2館共有) ※営業用緑ナンバー取得
大型1台 マイクロ2台
- ・ご希望があれば、レクレーション会場、クラス毎ミーティング会場も準備いたします



施設案内



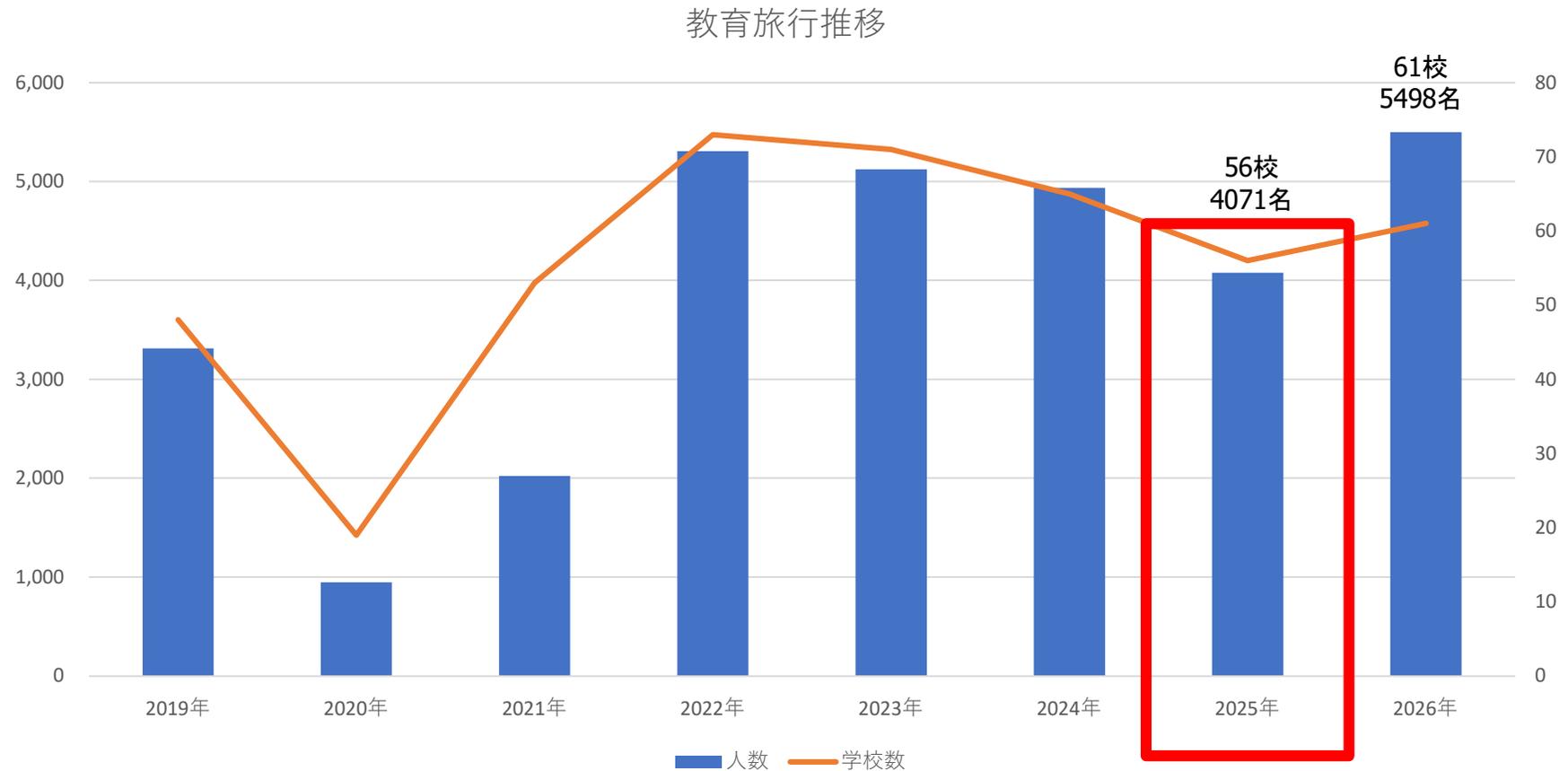
～気仙沼温泉 気仙沼プラザホテル～

- ・客室数全65室 収容人数329名
- ・大浴場 気仙沼温泉(泉質 ナトリウム塩化物強塩泉)
男女各 内風呂12:00～翌朝9:00
露天風呂12:00～25:00/5:00～9:00
- ・会場 **コンベンションホール「飛天」洋室 170名収容(2分割可)**
大宴会場「鼎が浦」和室120名収容(4分割可)
中宴会場「早馬」和洋30名収容(2分割可)
小宴会場「亀山」和洋20名収容(2分割可)
多目的ホール「ベイクリスタル」洋室 40名収容(分割不可)
- ・売店 7:00～21:00
- ・ご希望があれば、レクリエーション会場、クラス毎ミーティング会場も準備いたします
- ・お魚いちば 8:00～18:00(冬期17:30)

(気仙沼プラザホテルからエレベーターで直結)



《 教育旅行受入れ数の推移(人泊数) 》



《2025年 エリア別》

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| ◆北海道 2校 51名 | ◆東北 11校 1069名 | ◆首都圏 9校 1131名 |
| ◆北関東 19校 799名 | ◆中部 7校 606名 | ◆関西 5校 229名 |
| ◆中四国 3校 186名 | ◆九州 0校 0名 | |



最近、SDGsの取り組みを各企業が実践していますが、弊社阿部長商店グループでも「**持続可能な食の循環**」に取り組んでいます。

弊社グループの水産工場・ホテル・飲食店で出た魚類の不可食部分を自社工場で魚粉に加工し、それを契約農家(登米市・板倉農産)の田んぼに散布して肥料として活用をし始めました。その魚粉を肥料にしたお米を秋に稲刈りし、ホテルや自社飲食店で提供はもちろん、売店で販売もしています(数量限定)。

海と山がつながり、魚は捨てることなく循環されています！



2023年度

「食材王国みやぎ推進優良活動表彰」
特別賞受賞！

宮城県より、この取り組みが素晴らしいと多くの講評をいただきました！



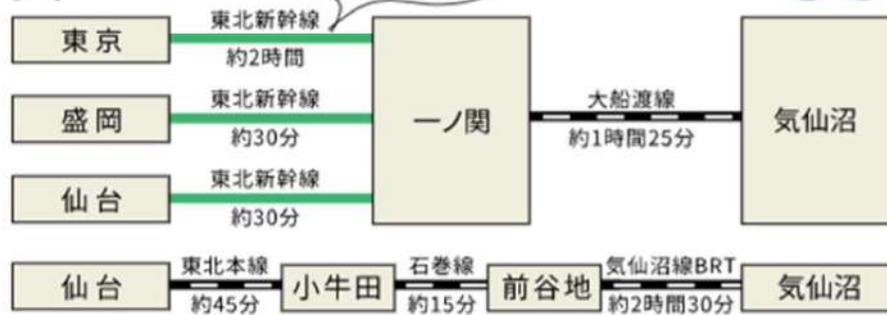
Access 気仙沼へのアクセス



気仙沼市
観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

列車で

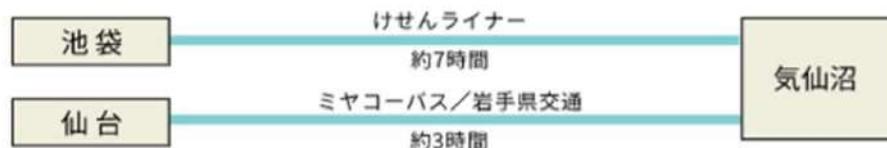
東京駅から
最短 **3時間半**



車で



高速バスで



気仙沼はどんなところ？

宮城県最北端、北上山地の南東部に位置し、気仙沼湾の湾口には緑の真珠と称えられる美しい島・大島を抱き、四季静穏な天然の良港を形成している。宮城県内陸部に比較して温暖な海洋性気候です。

面積/333.38km²
人口/62,601人
世帯数/26,416世帯



三陸海岸の旅 (仙台⇄松島⇄南三陸⇄気仙沼⇄平泉⇄花巻)

Living with the Ocean... 海と共に生きる



気仙沼で学ぶことのできるプログラム①

SDGs目標 ⑪⑬

防災(減災)学習



2011年3月の東日本大震災で被災した気仙沼をフィールドとし、語り部から当時の話を聴く、伝承館や美術館などで当時の被災状況を目で見て肌で感じて学ぶ「命の学習」。

南海トラフ沖大地震に備える、心構えを学ぶ。

現地研修例(場所) ※詳細は以降のページ参照

①気仙沼市東日本大震災伝承館 ②リアスアーク美術館 ③ホテルでの震災講話 ④命のらせん階段



<得られる体験・学び・意識醸成>

- ・近年の異常気象から自然災害が多発している日本において、あらゆる自然災害から身を守る意識を醸成(いつ、どこで発生するかわからない。今は関係なくても進学や就職や結婚などで将来関係するかも)
- ・今後30年以内に発生すると予測されている「南海トラフ沖大地震」に備える意識醸成(発生確率は70~最大80%と発表されている)
- ・命の大切さ、大切な人(家族・友達など)を守る、助け合う力 = 人間力、生きる力を養う
- ・人の心の痛みを感じる心を養う
- ・最後にみんなと共有しあうことで、更に知見が広がる

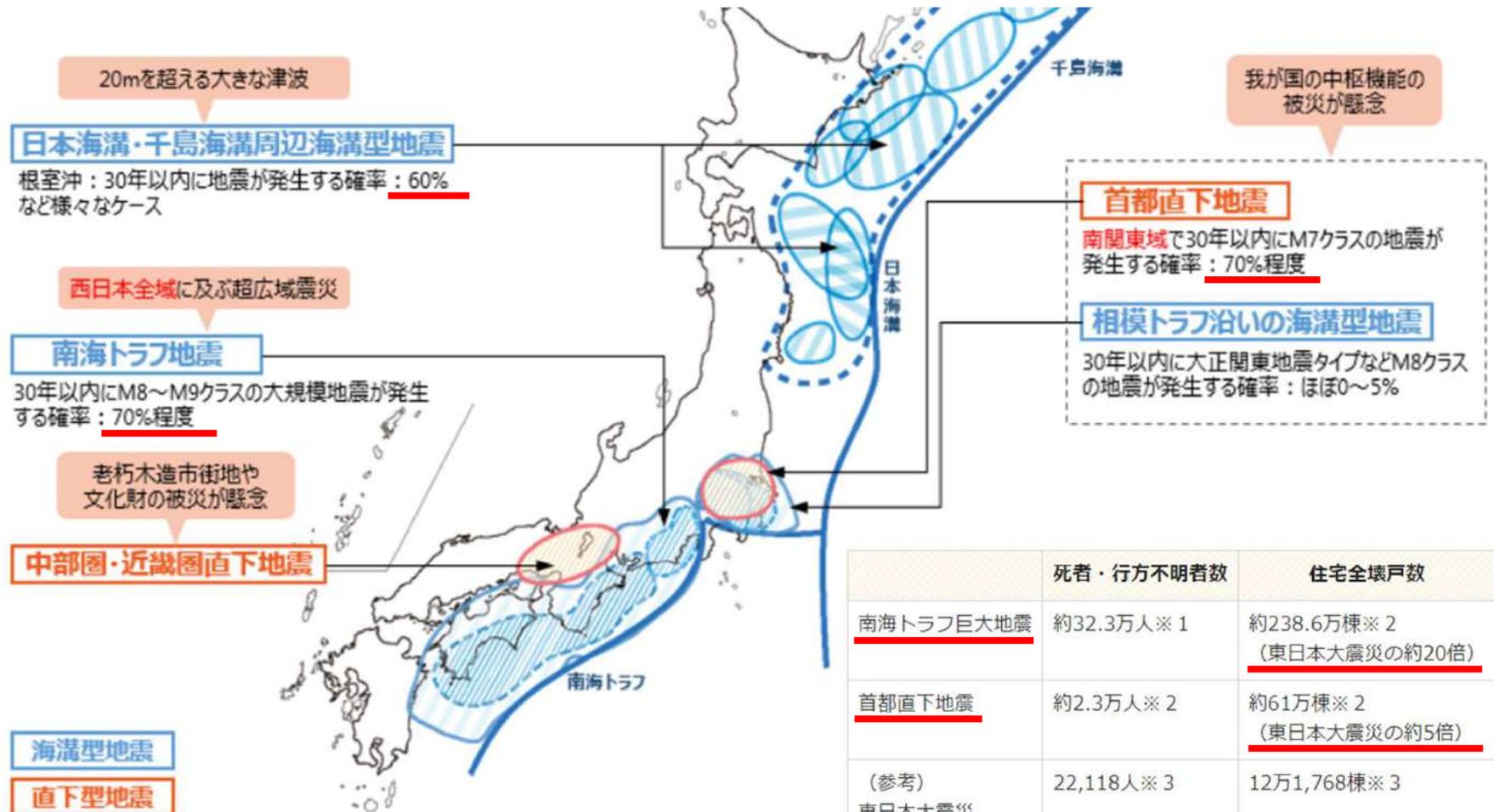
想定される大規模地震 ※発生予測確率は、地震調査研究推進本部による(2017年1月時点)

世界のマグニチュード6.0以上の地震の約2割が起こっているとされる地震多発国の日本には、北海道から九州まで、**わかっているだけでも約2,000もの活断層があります。**

このうち、近い将来に、大きな地震を起こす可能性が高い活断層が複数指摘されています。

しかし、**平成28年4月に発生した熊本地震を引き起こした布田川断層帯のM7.0級の地震発生確率は30年以内に1%未満でした。**

地下に隠れていて、まだ見つかっていない活断層もあるとされており、大規模な地震が発生する可能性が高いといわれている地域だけでなく**どこで、いつ大きな地震が起きてもおかしくないのです。**



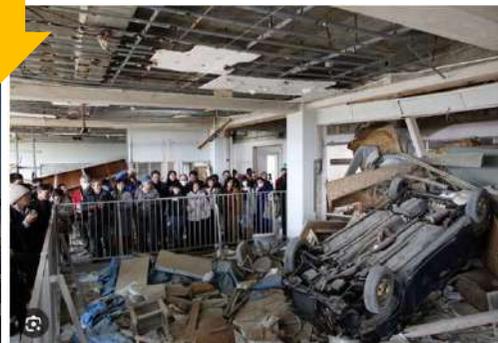
(内閣府 防災情報ページより抜粋)



2011年



今現在



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

(震災遺構気仙沼向洋高校旧校舎)

(1~2時間)

主な来館目的は修学旅行や震災学習です。東北管内はもちろん全国の学校からお越しいただいており、訪れる学校は年々増加傾向にあります。

地震と津波の痕跡をそのままにとどめた校舎を自分の目で見て、震災のすさまじさを追体験することにより自然災害について自分ごととして考えるきっかけを養います。

学校教育活動年度比較

※令和4年12月未現在

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	16校/955人	18校/858人	28校/1,042人
中学校	60校/3,703人	74校/5,250人	97校/8,074人
高校	36校/2,078人	70校/5,387人	91校/5,350人
合計	112校/6,763人	162校/11,4957人	216校/14,457人

入館料:一般600円 / 高校生400円 / 小・中学生300円
 ※30名以上の団来料金は各100円引き



館内を見学した後に見るこの映像は、2011年3月の市内中学校卒業式での答辞です。これは当時全国から大きな反響がありました。突然同級生を亡くした辛さは何事にも

変えられない悲しみだったと思います。先生方はもちろん、同年代の生徒さん方には是非見ていただきたいです。



東日本大震災を災害史、災害文化の視点から考えるための様々な資料を常設展示

2011年3月11日から約2年間に亘り学芸員独自調査記録資料(被災現場写真203点・被災物155点)その他歴史資料等137点、資料総数約500点をご鑑賞いただけます。

★★生徒たちに一番響いた言葉★★

これらは『ガレキ』ではない。『被災物』なんだ。。。

※瓦礫(ガレキ)=価値のない物、つまらない物という意味も持つ

観覧料:一般500円 / 大学・専門学校:400円 / 高校生300円
小・中学生150円 ※20名以上の団来料金は各50円引き

(約1時間)



ホテルでの語り部(約60分)

被害が大きくなってしまった考えられる原因

- ・油断(自分は大丈夫だろう...)
- ・家族が家族を心配しての行動
- ・記録、撮影による避難遅れ
- ・広範囲に広がってしまう火災 など

あなたの町で今後「想定」される 災害と対策は？

※東日本大震災の被害額は約16兆円と推計されています。

今後想定される東京直下型地震が発生した場合、想定被害額は約100兆円、南海トラフ地震では約220兆円とも試算されており、東日本大震災以上に復旧は困難な状況になる予想です。
今のうちにできる対策を、地域それぞれで考えましょう。



震災伝承施設（震災伝承ネットワーク協議会登録認定：事務局・国土交通省東北地方整備局企画部）

（株）阿部長商店 ホテル観洋創業者宅（気仙沼市・内の脇地区）

地域住民を救った「命のらせん階段」



気仙沼市・南三陸町はじめ大船渡市、石巻市で水産業と観光業を営む株式会社阿部長商店。創業者であり、会長の阿部泰兒氏は気仙沼市内の脇地区にあった本社兼自宅に東日本大震災の5年ほど前、後付けの工事ですせん式の外階段を取り付けました。

内の脇地区は高台の避難場所も遠く、すぐには逃げられない地域のため、この地区の高い建物だった自宅の屋上に住民が避難する目的で階段を取り付けました。

3回ほど地域住民の方々と避難訓練も行っていた結果、当日は約30名が屋上で大津波から命を守ることが出来ました。

阿部泰兒氏は自身が1960年5月のチリ地震津波で多くの人命が失われ、そして東日本大震災で繰り返された悲しみをもう2度と繰り返したくないという気持ちで震災の教訓を語り継ぐため、自宅を震災遺構として残すことを決断しました。自助・共助の教訓として、命を守ることの大切さを伝えるためにこの場所は多くの方に訪れていただき、さらに伝え広げていける場所になることを願っています。

(一例紹介) 防災・減災ワークショップ



各グループごとに、被災地での学びを振り返り、共有し合い、**帰省してから何を学んだか、何をするか・できるか**を**考える「場」と「時間」**が大切である。学校へ戻ってからもいいと考える。それを文化祭等で発表する学校もあり。

気仙沼で学ぶことのできるプログラム②

SDGs目標 ⑫⑭ 海洋教育(豊かな海を守る)・食育



資源が豊かな三陸漁場を目の前にする気仙沼。四季を通じ様々な魚介類が水揚げされる気仙沼魚市場の見学や、湾内での養殖漁場体験を通じ、生産者から生の声を聴き、漁業や海洋資源の保全について学ぶ。

現地研修例(場所) ※詳細は以降のページ参照

- ①気仙沼魚市場見学 ②ホテルでの講話 ③養殖漁場体験 ④ちよいのぞき気仙沼(水産業体験)

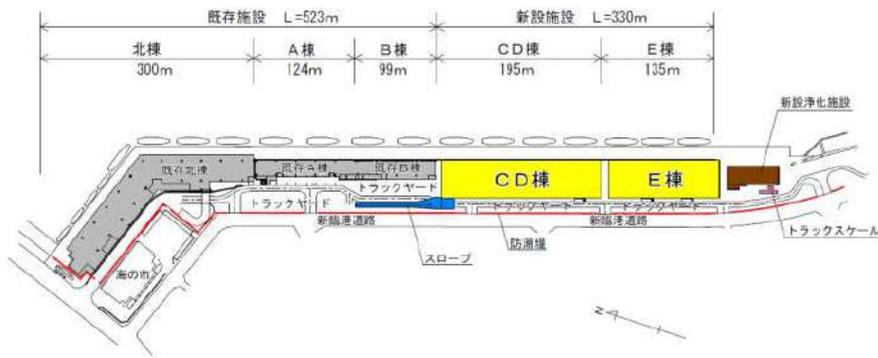


<得られる体験・学び・意識醸成>

- ・海洋と人間の関係について理解が深まる
- ・海洋環境の保全の大切さ、保全を可能にする知識、技能、思考力、表現力を養う
 - 海に親しみ、知り、守り、利用する知識を得る
 - (現在、海洋ではプラスチックごみなどによる海洋汚染が大きな問題となっています)
- ・第一次産業者への感謝の気持ち、食への感謝の気持ち、意識を醸成
- ・水産業を支える様々な仕事現場を見る事で、魚の水揚げから流通の過程を知ることができる

研修例①気仙沼魚市場見学(時期・人数・時間は要相談)

Living with the Ocean... 海と共に生きる



気仙沼魚市場

(体験時間 約1時間)

全長約1キロの新気仙沼魚市場へ！

高度衛生管理型の新魚市場。水揚げや荷捌き・入札など魚市場の仕事を見学することができます(人数により対応不可もあり。要相談)。魚市場内には気仙沼の水産業の魅力を発信する情報発信センターも併設。その他、キッチンスタジオの施設もあり、料理教室などの体験学習やイベントも開催可能。





夕食前に水産業とSDGsを絡めた講話もできます。

「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」出張講演

※遠洋マグロ漁船の船主さんです

(体験時間 50～60分程度)



体験場所: 気仙沼市唐桑町

気仙沼湾内で養殖されている牡蠣や帆立の生育方法など、実際に養殖筏まで行き見学させてもらうことができます。

生産現場を生産者の方から直接見せてもらい、お話を聴く事で、食への感謝の気持ちが育まれることでしょう。

生き帰りの漁船ではウミネコの餌付けもでき、楽しい思い出づくりも。

(体験時間 2時間~3時間)

※大人数での受入れは不可。少人数向けのプログラムです(1筏あたり定員10~12名)



気仙沼の基幹産業である水産業を支えるさまざまな「仕事場」を体験プログラムにしています！



平成29年観光王国みやぎ
おもてなし大賞受賞！！

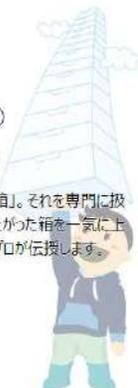


函屋探検

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

高さ8mの箱を持ち上げる姿が圧巻！

気仙沼から全国へ魚を配送するのに欠かせない「箱」。それを専門に扱う函屋ならではのワザに迫ります！天井まで積み上がった箱を一気に上げ下ろし、バランスを取るのが難しい図持ちの技をプロが伝授します。

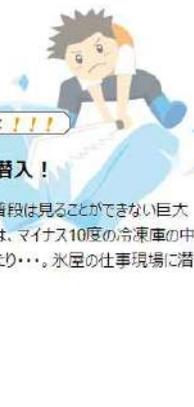


氷屋探検

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

マイナス10℃の巨大冷凍庫に潜入！

魚の鮮度を保つのに欠かせない「氷」。普段は見ることができない巨大氷を作る工程を見学します。見学後は、マイナス10度の冷凍庫の中に入ったり、氷を切ったり、かき氷を食べたり…。氷屋の仕事現場に潜入します！



漁具 芸人！？と遊ぼう！

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

漁の種類だけ「漁具（ぎょぐ）」がある！

産卵から遠洋漁業までそろった気仙沼には、魚を獲るために知恵と工夫にあふれた道具がいっぱい。漁に使うマシツクな道具から、包丁やシェールカッターなど一般の人の暮らしにも使える道具まで。漁具の不思議を解説しながら、実際に使って食べて、体感していただきます。



魚市場復興物語

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

魚市場の見学や、震災からの復興過程の解説など

気仙沼市魚市場は、東日本大震災で大きな被害を受けながら、わずか3か月で復旧を遂げました。素早い復旧が実現した背景には、関係者のたゆまない努力がありました。現在の魚市場を見学しながら、語り部さんがそのドラマを紹介。市場がお休みの日には、「裏側」ものぞけるかもしれません。

※各料金はお問い合わせください 20
(体験時間は各プログラム約1時間程度)



塩づくり体験

気仙沼の階上地区はかつて仙台藩御塩場として塩づくりが盛んに行われていた場所でした。その歴史をふまえて、海水を使ったミネラル豊富な自然塩づくりに挑戦します(昔の製法とは異なります)。体験終了後、できあがった塩はお土産として持ち帰ることができます。

・体験料 @500円

・場 所 岩井崎

※ホテルの会議室への出張も可能です。



超低温冷蔵庫体験

気仙沼魚市場で水揚げされた魚は、基本的には鮮魚で出荷されることが多いですが、加工品の原料としての魚も多く水揚げされます。

その原料となる魚を鮮度良く長期で保存するためにマイナス50℃にもなる超低温冷蔵庫での保管をしています。

弊社工場の**マイナス50℃の冷蔵庫**の中に入り、その寒さを体験できます。

体験料 @500円



宮城オルレ(唐桑コース)

気仙沼市唐桑半島の先端にある唐桑半島ビジターセンターから、三陸復興国立公園の代表的な景勝地である巨釜(おおがま)・半造(はんぞう)まで。スタート地点を出発して海岸に沿って歩くと、東日本大震災の際に海底から打ち上げられた巨大な津波石が見られます。

おおよそ37年の間隔で大きな津波の被害に遭っているこの地域は、自然災害に対する防災教育と防災システムが整えられているのが特徴。津波によるつらい経験をしながらも、海と共に生きてきた長い歴史のなかで「自然に逆らうことはできない」という考え方が培われてきたといいます。気仙沼・唐桑コースを歩くと、自然を畏れながらも海と共に生きる道を選択した人々の祈りが育てた独特の文化、そして、お互いを思う心に気づけるかもしれません。

総距離: 約10km

所要時間: 約4時間



気仙沼 海の市

気仙沼魚市場に隣設している観光施設で、1Fには物販店や飲食店が並び、魚市場から水揚げされた新鮮な魚介類やお土産購入が楽しめます。2Fには「シャークミュージアム」があり、震災の記憶やサメの博物館があり気仙沼の特徴を学べます。1Fの「氷の水族館」では、マイナス20℃の世界を体験できるのと合わせ、気仙沼魚市場で水揚げされる魚たちが氷の中で泳いでいます。

知ろう！
気仙沼の海と人、まるごと体感！

観覧のご案内

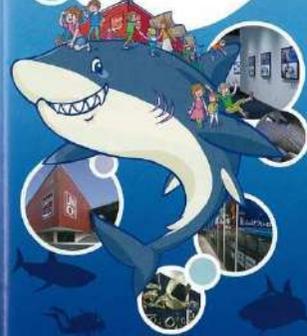
観覧時間	9:00~17:00
定休日	休館日 休館日に開催できない
観覧料	大人(中学生以上) 500円 小学生 200円

※1グループ10名様以上10名割引あり。
※小学生以下は保護者同伴必須です。



気仙沼 シャークミュージアム

気仙沼の海と人、まるごと体感！



学ぼう！
感じよう！

気仙沼は海の町。海と生きる町。世界三大漁業・三陸の玄関口に並び気仙沼では昔も今も海と生きる町。いつもたくさんのお客さんと魚の恵みで賑わっています。そんな気仙沼を有名にしたのがサメ。気仙沼は魚類専門家としての認知として世界に知られるようになりました。そう、気仙沼はサメと有らんとした「サメの町」なのです。

SHARK MUSEUM
Qここに注目！
「シャークミュージアム」のなかから、特におすすの「おすすめポイント」をご紹介します。

気仙沼復興シアター
震災から立ち上がる気仙沼の今を映像でご紹介！
復興の歩みやシミュレーションなどを通して、震災の記憶と向き合える貴重な機会です。ぜひお楽しみください。

何より強い海との絆
気仙沼の町も大きな被害を受けました。東日本大震災です。この震災で生じた巨大津波は、気仙沼の人々から多大な犠牲を生み出しました。しかし、気仙沼はほとんどもと生きた後も、これらもこの海と仲良く暮らしてまいりたいのです。ここ「シャークミュージアム」には、ご紹介した海の愛がいっぱい詰まっています。

ジンベエザメのプロジェクト
全長4メートルの巨大模型と最新映像技術に注目！
世界最大級のサメ「ジンベエザメ」の生態や繁殖の様子、産卵の様子(約1月サイズ)をリアルな映像で再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。

プロジェクトとは
サメ博士のご紹介
プロジェクトとは、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。



SHARK MUSEUM 館内MAP

「海と生きる町」の今を、未来を体感!!

- アーカイブパネル**
震災から復興、そして未来への思いが伝わる写真や映像、そして震災当時の貴重な資料や写真など、震災当時の貴重な資料や写真など、震災当時の貴重な資料や写真など。
- 気仙沼復興シアター**
震災から復興、そして未来への思いが伝わる写真や映像、そして震災当時の貴重な資料や写真など、震災当時の貴重な資料や写真など。
- メッセージテーブル**
震災から復興、そして未来への思いが伝わる写真や映像、そして震災当時の貴重な資料や写真など、震災当時の貴重な資料や写真など。



- ホホジロザメスーパーリアルオブジェ**
ホホジロザメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。
- サメ生態の秘密**
サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。
- ジンベエザメスーパーリアルオブジェ**
ジンベエザメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。
- サメの生態マップ**
サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。
- ダイブトークシアター**
ダイブトークシアターでは、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の映像技術で、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。



平成29年4月「氷の水族館」がリニューアルオープン

4つのゾーン
人と未来を輝かせるのご案内

ゾーン1 「絆」ゾーン

皆さんと気仙沼を結ぶゾーン。皆さんからのメッセージを気仙沼に向けて発信します。

ゾーン2 「震災の記憶」ゾーン

震災被害の状況や気仙沼の今、そして「未来に向けての思い」を映像でご紹介します。

ゾーン3 「海と生きる」ゾーン

震災被害から復興し、再び活気を取り戻した気仙沼の海と漁の今をお伝えします。

ゾーン4 シャークゾーン

サメ研究の権威、北海道大学名誉教授 伴谷一宏先生監修で「サメの不思議」をご紹介します。



2026年7月開業予定



★亀山山頂からの大パノラマ



★4/7に開通した気仙沼大島大橋！大島へは車のままで！

気仙沼大島

(ホテルから車で約30分)

本州と気仙沼大島を結ぶ橋として、「鶴亀大橋」の愛称でよばれるこの橋は、全国でも珍しい大型のアーチ橋です。

2021年上期のNHK朝ドラ「おかえりモネ」の舞台として全国に広く知ってもらいました。

大島では亀山山頂からの大パノラマと夜の星空観察も人気。夏休みには小田の浜海水浴場、大島最南端にある「龍舞崎」からはリアス式海岸らしい景観が楽しめ、また朝ドラのロケ場所を巡るお客様も多くいらっしゃいます。

※団体チャーター湾内クルーズ船(約50分コース)もご案内可能です(大島汽船 要予約)。



気仙沼内湾地区まち歩き

商業施設 **ないわん**

【迎(ムカエル)】【創(ウマレル)】

【結(ユワエル)】【拓(ヒラケル)】

- ・プラザホテルからEV降りてすぐ
- ・ホテル観洋から徒歩約10分

気仙沼内湾地区に完成した商業施設。その名も「ないわん」。

「サメ関連SHOPシャークス」では鮫グッズ等の販売、その他にも飲食店やカフェが数店舗入っています。大階段を降りて観光公園にて海を見ながらのんびりすることも出来ます。

漁船を眺めながら、まち歩きで港町風情を感じてみませんか。



★岩手県においては、陸前高田市に高田松原津波復興祈念公園の整備を進めており、公園内には国営追悼・祈念施設と一体で「**いわてTSUNAMIメモリアル**」と「**道の駅高田松原**」が設置されました。



高田松原津波復興祈念公園に整備する国営追悼・祈念施設(仮称)は、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓の伝承、復興への意志の発信の場として、広田湾から津波がさかのぼった気仙川へと至る「祈りの軸」を中心に、7万本の松のうち1本だけ残った「奇跡の一本松」、復旧される重点道の駅「高田松原」、震災遺構「タピック45」、海岸防潮堤等と一体となった空間として、式典空間や広場等を整備します。

ワタミオーガニックランドはSDGsを体験しながら
楽しく学べるテーマパークです

オーガニックランド 散策マップ

陸前高田ワタミ
オーガニックランドへ
ようこそ!

あかあか園をテーマにしたすべての命が輝かせる自然豊かな学びの場。有機栽培施設型のオーガニックランドを20年かけて開園をすまひていきました。土づくりから始めて、農業はちろん、食べて見て楽しむ。食育の場として、ここに集うみなさんと共に未来の風景をつくっていくというプロジェクトです。

陸前高田
ひとしに
20年
プロジェクト

オーガニックランドは、陸前高田からまよひ、陸前高田の復興をたもつと、復興できる場所づくりを続けています。

陸前高田とワタミの土と未来のプロジェクトが始まりました。

散策順路ガイド		園内施設ガイド	
散策順路① おらほハウス	散策順路② 休設備 & ホづかいハウス	カフェ	トイレ
散策順路③ おらほハウス	散策順路④ 休設備 & ホづかいハウス	食事・休憩 (おらほハウス)	バス停 (グリーンズローモビリティ)
散策順路⑤ おらほハウス	散策順路⑥ 休設備 & ホづかいハウス	休憩棟	駐車場

子ども大人も! 園内のアクティビティや食事など体験を通してSDGsが楽しみながら学べます!!

場内案内 	BBQ・手作りバーガー体験 	植樹体験 	種アート体験
-----------------	--------------------------	-----------------	-------------------



修学旅行・団体様向けプログラムのお問い合わせ先
TEL 0192-53-2107 (受付時間10:00-17:00)
E-mail info-rt-organic@watami.net

「東日本大震災津波伝承館」から車で5分
〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影305



修学旅行・団体様向けプログラム

お食事に関するご案内

ワタミオーガニックランドは
最大300名様まで
お食事ができます!

東日本エリア生産量No.1のささみを使った
オリジナルバーガー (写真: 原寸サイズ)

広大な敷地を持つワタミオーガニックランド
なら修学旅行生などの団体様向けのお食事
プランもご用意しています!
お気軽にご相談ください。



「津波伝承館」までお食事をお届けすることもできます!

ワタミオーガニックランド以外のお食事
にも対応!
旅行会社様で予め組まれている団体ツアー
で、大量のお食事を要する場合にも現地
まで配送可能です。
乗務員向けのお食事もご用意できますので
お問い合わせください。



ご来園の皆様安心してご利用いただくために

屋内換気 屋内施設では十分な換気を行っています	ソーシャルディスタンス 身体的距離の確保に努めています	手洗い・消毒 スタッフ・園内施設各所・備品の消毒をこまめに行っています	マスク着用 スタッフのマスク着用を徹底しています	健康管理 スタッフの健康管理を徹底しています
-----------------------------------	---------------------------------------	---	------------------------------------	----------------------------------



三陸鉄道

東日本大震災で不通となったJR山田線の宮古～釜石間(55.4キロ)は復旧、第三セクターの三陸鉄道(本社・宮古市)に移管され、「リアス線」として運行を再開しました。
この復旧工事が完成し、これまで南北リアス線の2つに分かれていた三陸鉄道は一本につながりました。

「震災学習列車」も好評価を得ています。



釜石～宮古間 (旧JR山田線)

写真で見える復旧写真をクリック！

- 宮古駅付近 (宮古市)
- 津軽石駅付近 (宮古市)
- 雄釜駅付近 (山田町)
- 大盛駅付近 (大盛町)
- 輪住居駅付近 (釜石市)
- 片岸地区 (釜石市)

釜石～宮古間 (旧JR山田線) 復旧工事の進捗状況を示す地図と写真のサムネイルが並ぶ。地図には釜石、宮古、津軽石、雄釜、大盛、輪住居、片岸などの駅名が記載されている。写真サムネイルには、復旧工事の現場や完成した駅周辺の様子などが写っている。

写真: JR東日本 盛岡支社 総務部、東北工業株式会社